



JOCジャーナル Vol. 116 2020 Jan



CONTENTS

目次・TOP頁	JOC 会長 新年挨拶01
JRA 補助事業	進捗中～訪問農場レポート～02
帯広畜産大学	クラウドファンディング達成05
ダチョウ肉料理考	モツとハツモトのモツ煮06



JOC 会長挨拶

令和2年正月

竹原一明

謹んで新春をお祝い申し上げます。皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

法定伝染病の豚コレラ（豚熱）は、2018年9月以降、本州を中心にイノシシや豚で発生しており、今年度になっても、まだ終息せず、防疫対策、特に徹底した飼養衛生管理基準の遵守が求められています。2020年1月には沖縄県でも3件の発生を見えています。防疫の強化が一層重要となってきました。

2017年度には、日本中央競馬会畜産振興事業（JRA事業）に「ダチョウ防疫強化対策事業」が採択され、日本オーストリッチ事業協同組合（JOIN）が事業主体となり、JOCメンバーや外部委員の先生方の協力の下、ダチョウ農場に対して、「飼養衛生管理基準」に沿った防疫強化を指導しました。その飼養実態を基に、「ダチョウ農場防疫マニュアル」を作成し、全国のダチョウ農場や家畜保健衛生所に配布するとともに、JOCとJOINのホームページに同マニュアルをPDFとして、公開しました。

2019年度は、同じくJRA事業で、「ダチョウ防疫強化対策事業」と「ダチョウ飼養アニマルウェルフェア対応推進事業」が採択されており、これまでに多くのダチョウ農場を訪問しながら、防疫対策の再確認とアニマルウェルフェア

の調査をさせていただきました。飛躍的な発展を目指し、ダチョウ生産に力を注がれている農場が散見されました。

JOC、JOIN とともに、日本のオーストリッチ産業の社会基盤、生産基盤を構築する役割を担う組織であり、わが国での安定したダチョウ生産の確立が最重要課題です。各農場におかれましては、より確実な生産を得るため、ダチョウ農場防疫マニュアルを基に、より衛生対策を強化し、さらにアニマルウェルフェアを重視し、生産性を高められることを期待します。

JOC 会員の皆様のご協力が必用ですので、よろしくお願いいたします。



【JRA 補助事業 ダチョウ飼育アニマルウェルフェア対応推進事業

／ダチョウ防疫強化対策事業 進捗中】

JOIN で H31 年度 JRA 補助事業として受託した 2 件の補助事業については、目下推進中である。ダチョウ飼育アニマルウェルフェア対応推進事業は、7 月に事業推進委員会及び専門委員会を実施、2 件の現地調査（山形県朝日町・鹿児島県鹿屋市）を実施した後、第 2 回目の専門委員会を 11 月に開催した。目下、アニマルウェルフェアの考え方に対応したダチョウの飼養管理指針の編集中であり、2 月に第 3 回目の専門委員会の実施の後、会員各位らへ飼養管理指針を配布する予定である。

ダチョウ防疫強化対策事業は、7 月に事業推進委員会を実施。1 月までに 8 件の現地指導（山形県朝日町、鹿児島県鹿屋市、北海道ニセコ町、埼玉県美里町、秋田県仁賀保市、新潟県村上市、広島県三次市、沖縄県今帰仁村）を実施した。2 月に静岡県で 2 件の現地指導を実施しており、結果を取り纏めた報告書を会員各員らに配布する予定である。

農場訪問レポート 会員農場の取り組み

JRA 補助事業では全国各地の農場を訪問できた。その中で補助事業の実施内容とは別に伺い知る事が出来た各地の農場の工夫や成果を紹介したい。

鹿児島県鹿屋市のかのやオーストリッチ（代表 安藤勝利）では、桑の葉茶の残滓を入手して補助飼料として活用している。桑の葉は絹糸を生産するカイコの主食であり、ルーサンペレットにも劣らない高タンパク質粗飼料である。桑の葉茶に加工されることにより乾燥・裁断されており補助飼料として大変適している。近隣で桑の生産が盛んな地域は入手できないかあためてみてはいかがだろうか。



北海道ニセコ町の第二有島ダチョウ牧場（代表 氏家健太）は、蝦夷富士ともよばれる羊蹄山の麓に立地している。その恵まれた景観のすばらしさは全国のダチョウ牧場の中でも随一といえた。こちらでは農場を見晴らせる場所にカフェを設置し、農場側の壁を一枚の全面窓とすることで景観を生かしていた。手作りのどらやきも大変美味しく観光客にも好評とのことだった。



埼玉県美里町の美里オーストリッチファーム（担当 山田謙司）では、雛の飼育管理や孵卵・孵化成績の向上に向けて詳しく相談を受けた。孵卵・孵化や雛の飼育管理についても洗浄や消毒などの衛生管理を正しく実施することも生産成績をあげる上で大変重要である為、こうしたステージでの衛生管理について今回実施しているダチョウ防疫強化対策事業の報告書に付録頁として掲載して、保存版として活用していただきたいと考えている。

広島県三次市の広島県布野オーストリッチ(株) (代表 益田邦昭) では、H29年度事業の際に来訪した時と同様、ダチョウ肉料理を提供している道の駅の食堂「圭の助」で昼食をいただいた。新たにダチョウ肉カレーをメニューに加えて、



特注の盛り付け器によるダチョウ型のご飯が見た目も楽しい一品であった。スパイスのよく効いたダチョウ肉によく合うカレーに仕上がっており、目下レトルトカレーとしての商品化を進めている所である。全国販売も可能な商品になると期待している。



リピーターの多い製品です！冬に向けての販促にお役立てください

オーストリッチ・モイスチャライジングクリーム

配合成分:オーストリッチオイル/ミツロウ/ビタミンE(内容量 30g/ 希望小売価格(2,750円))



- 原材料の成り立ちが明確です。(安全性が高い)
JOIN組合員が生産したダチョウの生脂を精製したオイルを原料に製造した化粧品
- オーストリッチオイルはパルミトレイン酸や α -リノレン酸、リノール酸を含みます。(素材の良さ)
- 融点が低く、すっと肌になじむので、少量で十分、髪から爪先まで全身に使えます。(経済的)

☆ 乾燥やアカギレ対策に ☆ 髭剃りあとに ☆ やけどや切り傷に
☆ 肩や背中、足のマッサージに ☆ 夏の日焼けや虫さされのあとに



帯広畜産大学 ダチョウサークル

クラウドファンディング達成



115号で報じた帯広畜産大学ダチョウサークルのクラウドファンディングは、無事目標額を達成し、飼育施設の拡大を実施した。詳細はクラウドファンディングサイトより一部転載して紹介したい。

【プロジェクト結果】

当プロジェクトの目標は、寄附金から現在のダチョウ飼育施設を拡張し、ダチョウ達が走れる広さを確保することでした。当初は柵の建設のみ行う予定でしたが、ネクストゴールをも超える多くのご支援を頂くことができたので、施設の屋根も整備することができました。家畜の衛生管理において、野鳥等の侵入を防ぐ屋根は必要不可欠です。部員が自作するよりも何倍も立派なものができ大変嬉しく思います。

工事自体は1週間で終わりましたが、その間は騒音によるストレスを考慮してダチョウ達は少し離れた施設に一時避難させていました。移動作業時に大きな事故なく終えることができたのも、おびひろ動物園の園長さんと工事業者の方にお手伝いいただいたおかげです。工事を終えたらすぐ、部員たちで荒れた地面の整備に取り掛かり、ダチョウを放つ準備を整えました。2羽ともすぐに拡張部分へ出てきて、何事もなく環境に慣れてくれたのは安堵の気持ちでいっぱいでした…。

2羽とも体調を崩すこともなく、今は既存施設と拡張部分を自由に行き来しています。時折施設内を走る姿も見ることができます😊
今年の繁殖期は終わってしまいましたが、来年以降この施設でダチョウが卵を産んでくれることを望むばかりです。

(URL:https://readyfor.jp/projects/dachou/accomplish_report) より引用

